# J-STAGE評価版の 取り組みについて

平成28年3月14日知識基盤情報部



### これまでの改修とこれからの課題

•J-STAGEは17年目の運用を迎える中、これまで数々のシステム改修、機能追加を行ってきました

2012年5月



XML形式への対応、 書誌XMLツールの提供 2014年7月



CCライセンス表示

2015年11月



WEB登載機能

・しかしながら、画面インターフェースに関するご意見も多くいただいて

いました

直感的に 操作しにくい

0. 00

表示される英語が分かりにくい

#### J-STAGE評価版の概要(1)

そこで・・・

#### 公開画面を改善した『J-STAGE評価版』を試験的に公開します

これまでいただいているご要望をもとに、海外ジャーナル・プラットフォームに精通したデザイン会社と共同で制作

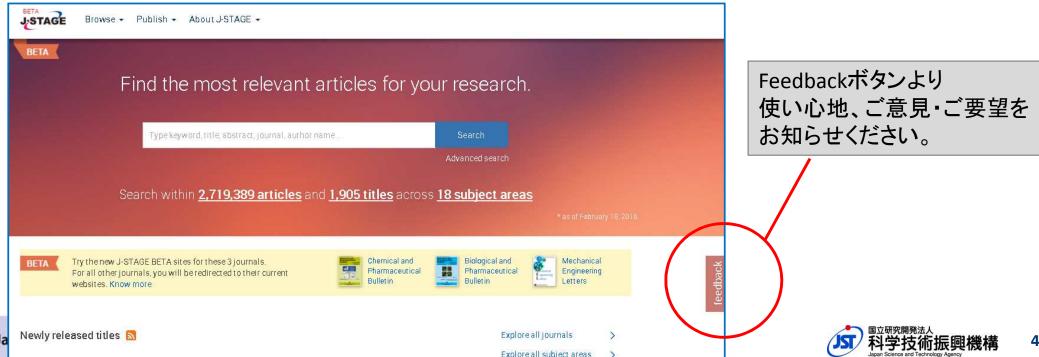
#### 評価版の基本開発方針

- 1.グローバルなジャーナルプラットフォームデザイン
  - 各国特有の文化にとらわれない使いやすいサイトを目指す
  - ・直感的な操作が可能なデザインを目指す
- 2.閲覧者の目的を達成できるデザイン
  - ・閲覧者が迷わず資料にたどり着け、必要な操作を行うことができる
  - ・ジャーナル管理者が見せたい情報を効果的に宣伝できるデザインを目指す
- 3.記事の読みやすさを重視したマルチデバイス対応
  - ・スマートフォン等でも記事を読みやすく、ユーザビリティの高いデザインを目指す
- 4.閲覧者を引きとめる要素
  - 閲覧者が回遊しやすく、再訪したくなるサイトを目指す
- 5.ソーシャルメディアとの連携
  - ・書誌リンクの拡散を図るため、ソーシャルメディアを活用できるサイトを目指す

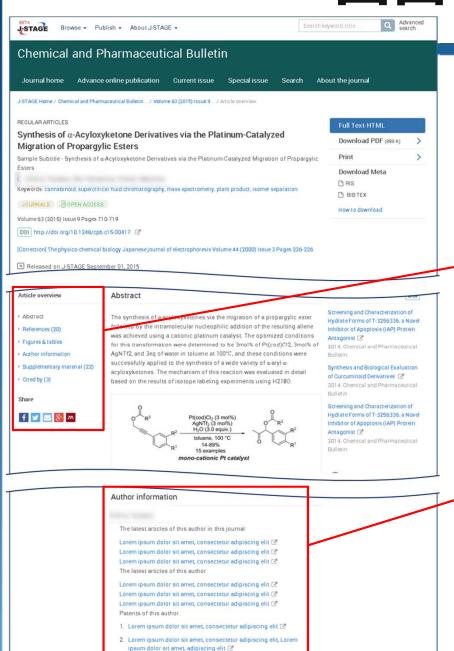
#### J-STAGE評価版の概要(2)

#### なお、評価版のため

- ・ジャーナル情報、書誌データの登載はご協力いただくモデル誌3誌※のみと なります。
  - ※日本薬学会様:「Chemical and Pharmaceutical Bulletin」、「Biological and Pharmaceutical Bulletin」 日本機械学会様:「Mechanical Engineering Letters」
- ▪データは現在のJ-STAGEから取得し表示されます。(評価版のみで公開される 記事はありません)
- ・閲覧者からのご意見を広く募り、今後のJ-STAGEへ反映させていく予定です。



### 画面イメージ(1)



左メニューはスクロール追従型を採用し、記事の どこからでも抄録、引用文献情報、著者情報等へ 遷移できます。

左メニューはスクロール追従型 を採用し、記事のどこからでも 抄録、引用文献情報、著者情 報等へ遷移できます。

J-GLOBAL\*から著者情報を取得し、その著者が執筆した他論文情報や特許情報が表示されます。

※研究者、文献、特許、研究機関、研究課題等が集約された、JSTが提供する総合的学術情報データベース



スマートフォンでの表示イメージ

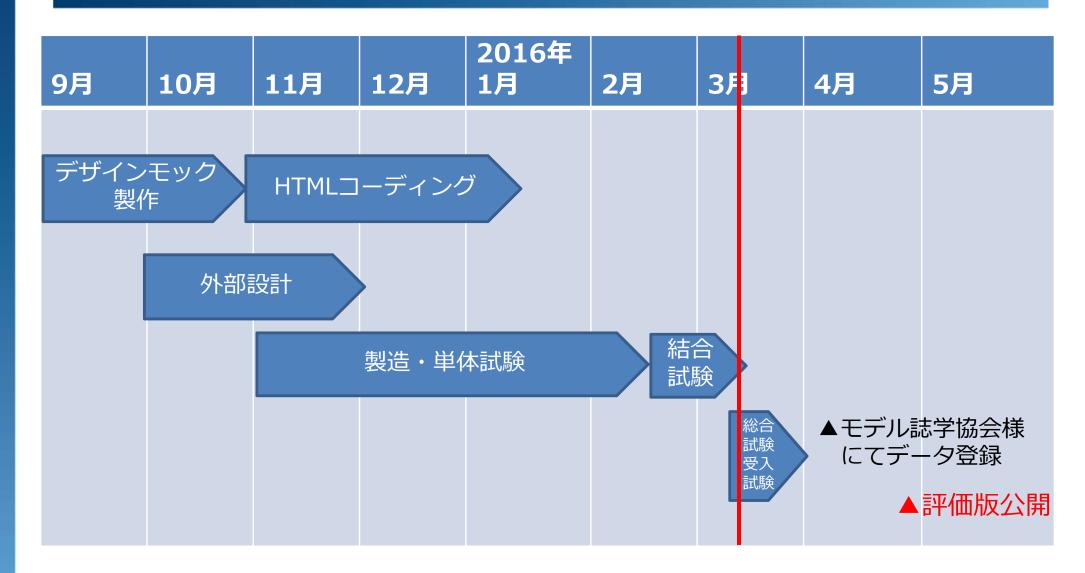


View author mapping on J-GLOBAL Z

## 画面イメージ(2)

その他のページは前方スクリーンにてご紹介します

### 今後のスケジュール(予定)



[注]スケジュールは変更となる場合がございます。予めご了承ください。